安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: パンライト®シート PC-N1A1

SDS No: PC-N1A1_Jp-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 工業用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名: 帝人株式会社

住所: 〒100-8585 東京都千代田区霞が関 3-2-1 霞が関コモンゲート西館

担当部署: 樹脂事業本部 環境・品質保証部

電話番号: 03-3506-4717

FAX番号: 03-3580-6680

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

化学的特定名: 成形品

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
ポリカーボネート樹脂	25971-63-5	60 - 90	7-738
アクリル樹脂	非公開	10 - 40	非公開

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当しない。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

切削作業中の粉塵または加熱された製品からの煙を吸入した場合: 負傷者を新鮮な空気の中に移動し、安静にして観察する。不快感が続く場合は医師の診察を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

水で洗う。洗った後も症状が続いたり、洗った後に症状が出た場合は、すぐに医師の診察を受ける。高温の製品に触れて火傷した場合は、皮膚に付着している溶融物質をできるだけ迅速に水で冷やし、医師の診察を受けて付着物質を取り除き火傷の手当てを受ける。

眼に入った場合

眼に切り屑等が入った場合: 目を擦ってはならない。水で完全に洗い流す。刺激がある場合は医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

切削作業中の粉塵を飲み込んだ場合：口を十分にゆすぐ。不快感が続く場合は医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護

救助者は、救助の最中、自身の危険にも注意する。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

泡、二酸化炭素、粉末消火剤または水噴霧で消火する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業のための呼吸用保護具の選択：作業現場に示されている一般的な火災注意事項に従う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

粉塵の吸入を避ける。保護具についてはSDS 第8項を参照。

環境に対する注意事項

排水、下水、水路への侵入を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物を回収し、第13項の記載に従って廃棄する。

二次災害の防止策

環境への放出を避ける。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(火災・爆発の防止)

切削加工時に粉塵が発生する場合は、粉塵爆発の可能性があるため、防爆型の電気器具を使用する。

(局所排気、全体換気)

適切な換気を行う。

加熱加工時は、溶融によって発生するガスを吸収しないように有効な局所排気装置等を設置する。

(注意事項)

粉塵の発生を最小限にするような作業方法をとる。適切な保護具を着用する。

火傷の恐れがあるので、溶融した高温の樹脂には触れないようにする。床上に散乱した切り屑等は、放置すると足下が滑って転倒を招く恐れがあるので、速やかに清掃して取り除く。適切な保護具を着用する。

安全取扱注意事項

長期間または反復して 皮膚に接触するのを避ける。
切削加工時は粉塵の吸入を避ける。毒性、刺激性のフェームへの暴露を防ぐため、加熱された物質から出る蒸気を避ける。切削した面及び角は鋭くなることがあり、切傷することがあるので、取扱の際は必ず保護手袋・保護眼鏡を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。
汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

安全な保管条件

シートの変形が起こるので、火気や熱源から遠ざけ、直射日光に当たらない場所で保管する。
(避けるべき保管条件)

シートの変形が生じるので、立てかけ保管でなく水平保管する。溶剤や塗料の近くに保管しない。

安全な容器包装材料

元の状態で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会 第3種粉塵

吸入性粉塵2mg/m³

総粉塵8mg/m³

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。
適切な換気を行う。

保護具

呼吸用保護具

切削加工時に粉塵が発生する場合は、マスクを着用する。
製品が加熱される場合は適切な防毒マスクを使用する。

手の保護具

長時間または繰り返し皮膚に接触する場合は適切な防護手袋を使用する。
製品を加熱する場合は火傷を防ぐために手袋を着用すること。

眼の保護具

切削加工時に粉塵が発生する場合は、気密性の高いゴーグルを使用する。
高温の物質に接触する可能性がある場合、安全メガネおよびフェースシールドの着用が望ましい。

皮膚及び身体の保護具

加熱および切削加工時は、火傷や切傷防止のため、長袖の衣服と保護手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：固体。シート、フィルム。

色：ナチュラル

臭い：無臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH: 適用外

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度: 不溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧: 適用外

蒸気密度: 適用外

密度及び/又は相対密度: 1.2 g/cm³

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

その他のデータ

蒸発速度データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

重合暴走反応は生じない。

化学的安定性

常温、常圧で安定。

危険有害反応可能性

発生しない

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

燃焼中: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

飲み込んだ場合、不快感を起すことがある。

急性毒性データなし

局所効果

切削加工時に出る粉塵は皮膚を刺激することがある。

切削加工時に粉塵が眼に入ると刺激を起すことがある。充血と痛みを起すことがある。

呼吸器感受性又は皮膚感受性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

この製品は、環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が、環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。

水溶解度

この製品は水に不溶で水系中で沈殿する。

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

産業廃棄物処理業の許可を受けた業者に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて処理を委託する。現地の規定に従い、処分する。環境に影響する可能性があるため河川、湖、山野等への投棄はしない。

汚染容器及び包装

ラベルの警告に従う。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送におけるMARPOL条約付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

指定可燃物

合成樹脂類_その他のもの(酸素指数 26未満のもの)(数量 3,000kg)

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

この情報に関する保証は致しかねます。この情報は正しいものであるとの信念に基づき提供しております。注意事項は、通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。この情報は、労働者と環境への保護対策を決定するためにのみ使用して下さい。

ここに記載した法規制情報は現時点における日本法規に関する参考情報です。その他各国の法規制に関しては、個別に弊社営業担当までお問い合わせ下さい。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。

但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。